

中野操文庫 一括(13,461点)

中野操文庫

なかのみさおぶんこ

指定有形文化財

歴史資料

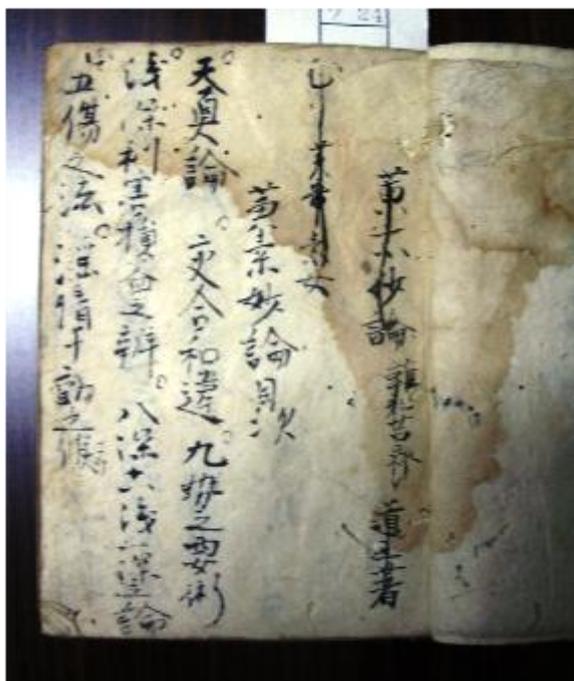
所有者

大阪市(教育委員会事務局)

所在地

大阪市史編纂所 大阪市西区北堀江 4-3-2

紹介



大阪における医史学の権威として知られる中野操(1897~1986)の蔵書。大阪赤十字病院に勤務後、周防町、阿倍野晴明通で開業した中野博士は、医療活動につとめる傍ら、『増補医事年表』の編纂、機関誌『医譚』の発行など、医史学の発展につとめた。蔵書の中には天文21年(1552)の『黄素妙論』など室町時代に遡る医学書、1733年オランダ刊の『セウユリルスフラカコンスト』を蘭方医新宮涼庭(1787~1854)が写した日本最古のオランダ文法書、江戸時代大阪の医事年表のほか、『医譚』編纂に関する資料など、日本医史学上比類ない歴史資料である。